
終わる世界に最後の約束を

youmu7

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

終わる世界に最後の約束を

【Zコード】

Z8974Z

【作者名】

youmuy

【あらすじ】

主人公 藤堂 亜紀（男）通称・俺だが、ある日、同じクラス？の神崎から刀をもらう厳密には返してもらつた・・・かな？その刀は俺の家の宝刀で・・・え？俺こんな生活望んでないんだが？

その日から仲間が増えるわよくわからん理由で切られそうになるわ！俺の日常はもう戻つてこないんだな・・・そう、永遠に

序章～終わりの時の猶予時間～（前書き）

この小説は、初めて書いたので矛盾があると思いますwww
あと、けつこう定番ネタですよね。

暇なときなどにどうぞ…。ちなみに結構長かつたりするのかな?
でも大丈夫!毎回10話くらいで大体の話がわかる様にまとめるか
ら!!

あれ?・・・見る必要なくねwww そんなことは気にせず!
ゆっくり楽しんでいいってね!!!

序章～終わりの時の猶予時間～

「俺の家には宝刀がある」って言えば何人が信じるだろ？
だってそれは只の模造刀かもしれないのだ。

普通の人にはそんなの見分けがつかないだろうが、
最初に言つた通り

「俺の家には宝刀がある」

だが、この宝刀を巡つて大きな戦争になるとは
普通だれも考へない。

只の不幸だと、時期が重なつただけだと思つた
だか確実に俺だけを狙つてくる集団。
あげくに、味方さえ裏切るものが出る
どうしてこんなことになつたのか・・・。
それを今から説明していこう

序章～終わりの時の猶予時間～（後書き）

序章・・・なんか? プロローグの方がいいかな? どちらでもいい
か w

うん、これだけだとわけわからんね! !
でも見ていけばきっと・・・! !

あらすじ、序章は多少の変更あるかもです! !

第1話～終わりのはじまり～（前書き）

第1話～終わつのはじめ～

自宅 自室

朝・それだけで辛い、だつて朝だぜ？眠いじやん
「あきーそろそろ起きなさい」
とまあこんな感じにいつも通りなわけだが

しかし・・・母さんも疲れないのかな？毎日同じ事して
小さいこひはつるといだけだつたけど今では声を聞いてるだけで落
ち着く

そんなこんなで俺は布団からぬづくと起き時計に目をやる
「7：00か・・。しかし今日の気温3 度ww馬鹿にしてるだろ」

そう特に朝が辛いのはこの為である。みんなもわかるだろ？

こんな寒い中なんで自転車で10分かかる学校へ行かなきゃならな
いんだ。

しかしあま近いんだよなあ～それだけでも良しとするか！

7：10 着替え終了！いやあ着替えるまでってなかなか時間がかかるよね？

寒い日に服を脱ぐとか・・・ちくしょーーー着替えたて寒いよーー
！！

こんなやつとりを続けて5分無駄にした。

7：15 食卓にて ニゴースによれば今日は快晴らしい
つてみればわかるよwwで今日は一日晴れ
「晴れでよかつたねえ」母さんが笑顔で言つ
「まあ寒いからな、晴れでよかつたよ」父さんが言つ
「でもさー。電車の中暑くね？」疑問を聞いてみたり
「それは人それぞれだがこれだけ寒いと逆に助かる」
父さんが質問に答える

とまあこんな日常が好きなんだよ

7：30 歯磨き完了！ゆっくりする時間もあつたから今日は早め

に出るかな

いつもなら10分後に家を出るんだが今日くじけだらう
なんたって今日は快晴だからだ!!

最近曇りや雨でじめじめしてたんだよねえ冬なのに
雪が降ったのは2日だけ曇りや雨からは5日
つまり一週間ぶりの晴れなのだ!!しかも快晴!!
これをテンション上がりましてどうする!!

7：31 登校中

じゃあわくつと学校の説明でもしますか

学校の登校時間は8時40分まで 遅刻したことはない
あとは普通だ。

7：40 学校到着 教室1・1 3階端

さてと着いたわけだが・・早すぎた。

やっぱ早いと教室だれもいねえ
と思つたら奥の席に誰かいる?
うーんだれだあれ?転校生かな?

「あの~、転校生さんですか?」質問してみた
答えは

第一話～終わらぬはじまり～（後書き）

結構短めでいきます！

こついう終わり方つて

続き気になっちゃいますよね！

第2話～災ごの原点～（繪書き）

新キャラ + すべての始まりです！

ここからようやく戦いが動き出すんですね！！

誰がしゃべっているかはわかると思ひので省略させていただいております。

後々、つきますんでww

第2話～災いの原点～

「違います」へ？？じゃあなんで学校にいんの？
あーちなみに黒髪ロング身長160くらいかな？あとは
まあとりあえずだ・・落ち着こう。

多分あれだ！幽霊だ！！あーそう思うと気が楽になつてきましたぞ
とか考えつつも席に着く俺。それに転校生が近づいてきて
「私、あなたと元から同じクラスなんだけど・・。」
えへへ～しましたww友達とかとはしゃぎまくつて
全然クラスの仲間の顔おぼえてないやあ～

「えつと・・すいませんでした！最近学校来ても寝てたり遊んでたりするから

全然クラスの人（男子以外）おぼえていませんでした！！！
まあ全力で謝るのは当然だよね？てか俺ひどすぎだろ！
でも窓際の人の顔とか名前とかつて覚えにくいやねえ～
「私の名前は 神崎 真帆 です」結構怒つてらつしやる
「俺の名前は藤堂 亜紀です、しつてましたよねww」
「下の名前はしりませんでした」

「それが普通ですよww」

とこんなやりとりをしてもだれも来ない

7：45 教室

異変に気づいたのはそこら辺からだらうか、
まず外が暗い、いやちがうな外は青色・・。

へ？青色つてなんだよ！？あれか色つき下敷きでも貼られてるのか
俺は？

でさつきの神崎はどこに？外か！？

?・?・? グラウンド

その中に彼女はいた。

しかし本当に神崎か？青いからかもしれないが・・

いや見間違いじゃねえなあいつ髪の毛白くなつてやがる

神崎はゆっくりこぢらを振り返る

落ち着け俺、これは夢かもしれない下手に動けば寝ている俺が
変なことになる。。。

「どうしたんですか？　まさか夢、とか思つてます？ふふふ
夢じゃないのか！おっしゃ！！動いても大丈夫だ！！」

あれ今声後ろから・・でも神崎は動いていなかつた・・はず
なのに・・なんで・・おれ・・横に飛んでんだ？

「ぐはあ」グキッ！と鈍い音をたてて地面に叩き付けられた
どこも折れてはいなかつたがしいて言つなら心が折れたなww

「どうしたんですか？弱いですね　あははは

畜生笑いたいのはこいつだよ・・。

どうする？近づく？逃げる？いや逃げるのは駄目だ
いいぜ、倒してやる！！

「やつとその気になりましたか」

神崎が刀を投げてくる。それは俺の前で落ち

「つ！？」俺はこの刀に見覚えがある

よく小さい頃に見たことのあるそれは・・。

「それあなたの家の刀でしょ？」

そうだよく祖父からいわれていた

『その刀を抜いていいのは覚悟ができた人のみ！』

その時俺は・・その刀を・・抜いていた！！

「あはははやっぱあなたのだつたんですね！？」

「だったらどうする？お前を切り刻めばいいのか？」

「怖いですよ、ただ私はその刀の持ち主を探していただけなのです

から

「ならさつきのはなんだ？」そつ攻撃のことだ

「あれはあなたをその気にさせるための唯一の手段ですわ

「唯一？」

「そう時間がないのですよ、こぢらにまほらもつすべく結界も解ける。

だからあなたに一つだけ言っておきます「

- その刀はあなた。その刀を手放すことは許されない -

第2話～災いの原点～（後書き）

新キャラ：神崎！ 初めは156cmだったんですがねww
グラウンド時、神崎の目は赤色です。通常は黒
色つきの下敷き（青）を買えば同じ体験できるかも？ww
ちなみに主人公に見た目の変更はなしとかわいそうに・・。

第3話～敵か味方か～（前書き）

第3話です！

また新しい人ですね～

第3話「敵か味方か」

気づいたら机で寝ていた・。

と・・とりあえず状況確認だな！えつと・・・12時？

あ・・あれ！？学校来たの8時だったよな・。

あー。あの世界時間たつの早いわけか、なるほどお・。

だとしてだ、どうするよ？このまま寝てるか、授業を聞いてるか。
だがそんなことしてる暇はなさそうだｗｗチャイムなりやがったよ

お昼休み

まあアレだ昼食シーンなんていらないよｗｗ

みんな食堂いくから、誰も残つてねーだろうな。

あれ？一人残つてる。同じ弁当組かな？

しかもすごく見られてるんだが

あれか？刀の件か？うそーん、ならくればいいのに・。

あーはいはいきますよーいくから睨まないでーすごく怖いからー！

「で、なんの用なんだ？」まずこれ聞かないと始まんないからなｗｗ

「別に。」！？あれれ？間違えたわｗｗ気のせいいかそうですか

「神崎」「え？神崎？」

「神崎がどうかしたのか？」しかしなぜいきなり？？

「やはり知つていましたか」あはは・・。トランプかよ！・

「知つてるが？」

「では早速・・・宝刀いただきますよ？」あーフラグの方ね理解

「あげませーんよ」なんか変なテンションでいつちつたｗｗ

「そうでなくては困ります」　ですよねー

「ちょいませ」ブォン的な音とともに刀が振られる

教室の中には人が・・・てか昼休みだからだれもいないんだつた

ｗｗ

しかも何？刀燃えでますよ？？つてよく見たら・・・剣じゃん！？

だがその炎は机を焦がさなかつた。いわば飾りなんだろ？

「死にます？」

「いやです　ｗｗ」

「では、しんでくださいっ！」

「おかしいな　ｗｗ断つたら殺される、理不直ですよ…！」

「よけないでくださいよ、机切つちやいますよ？」

「え？　ちよい　ｗｗやめて　ｗ机はまずい」

「ならなんですか？教室でも切れます？」

「いやいや　ｗｗ切るな！止めてやめろ！」

その時は教室切るとおもつてた・・・。

けどちがつた

そいつは・・・。

チヨークを折つた。

「じみいいいい！！！」

「え？　なにがですか？」（　・　）　ヒッ・・・？

そんな顔でいわれても　ｗｗかわいいじやないか！

まあチャイムが鳴つたからこいつものように授業の用意してたんだが・。
・。

来た　あの世界だ

第3話～敵か味方か～（後書き）

ちなみにこの間の青の世界は結界です
刀を持つてゐる場合は青くならないです
ちなみに神崎も爆睡してましたww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8974z/>

終わる世界に最後の約束を

2011年12月29日22時45分発行